

# 紫外線發生管

HGL - 1 0 0

HGL - 1 5 0

HGL - 2 0 0

HGL - W 1 0 0

仕 様 書

## 1. 概要

紫外線発生管は、380nm以下の波長である紫外線を発生することができます。発生した紫外線には、殺菌作用、オゾン生成作用や蛍光物質を発光させる作用を有します。これらの作用をうまく利用することで、環境対策や医療、電子工業等 さまざまな分野において活用できます。

## 2. 用途

型番	発光波長	主な用途
HGL HGL-W	185nm+254nm (石英ガラス)	オゾン発生、殺菌、脱臭

## 3. 特徴

本紫外線発生管は、以下の特徴を有する。

- ①小型で手軽に使用できる。
- ②端子部が片側配置のため、コンパクトな設計が可能。
- ③U字管、W字管構造につき発光面が広い。

## 4. 仕様

### 4.1 電気・光学・環境仕様

品名	HGL-100	HGL-150	HGL-200	HGL-W100
項目				
発光波長	185+254nm	185+254nm	185+254nm	185+254nm
ガラス管材質	石英ガラス (ワゴン発生)	石英ガラス (ワゴン発生)	石英ガラス (ワゴン発生)	石英ガラス (ワゴン発生)
ランプ電力	3±1W	7.2±1W	8±1W	8±1W
ランプ電流	10±3mA rms	20±3mA rms	20±3mA rms	20±3mA rms
ランプ電圧	300V±50V rms	360V±50V rms	400V±50V rms	400V±50V rms
185nm 紫外線強度	10	10		
(測定装置) *1	μW/cm <sup>2</sup> /10cm	μW/cm <sup>2</sup> /10cm		
254nm 紫外線強度	350	450	550	550
(測定装置) *2	μW/cm <sup>2</sup> /10cm	μW/cm <sup>2</sup> /10cm	μW/cm <sup>2</sup> /10cm	μW/cm <sup>2</sup> /10cm
オゾン濃度 *3	30ppm 以上 *4	50ppm 以上 *4	70ppm 以上 *4	70ppm 以上 *4
動作温度範囲		+10～60℃		
保存温度範囲		-20～60℃		
動作湿度範囲		35～85%RH (結露なきこと)		
寿命		約10,000時間 (定格紫外線強度の50%低下時間)		
耐振動		10～55Hz 振幅1.0mm 3方向2時間		
耐衝撃		自然落下 約30G以下		

注意\*1: 測定装置は(株)オーケ製作所 UV-185 測定距離: ランプより 100mm 点室温での紫外線強度

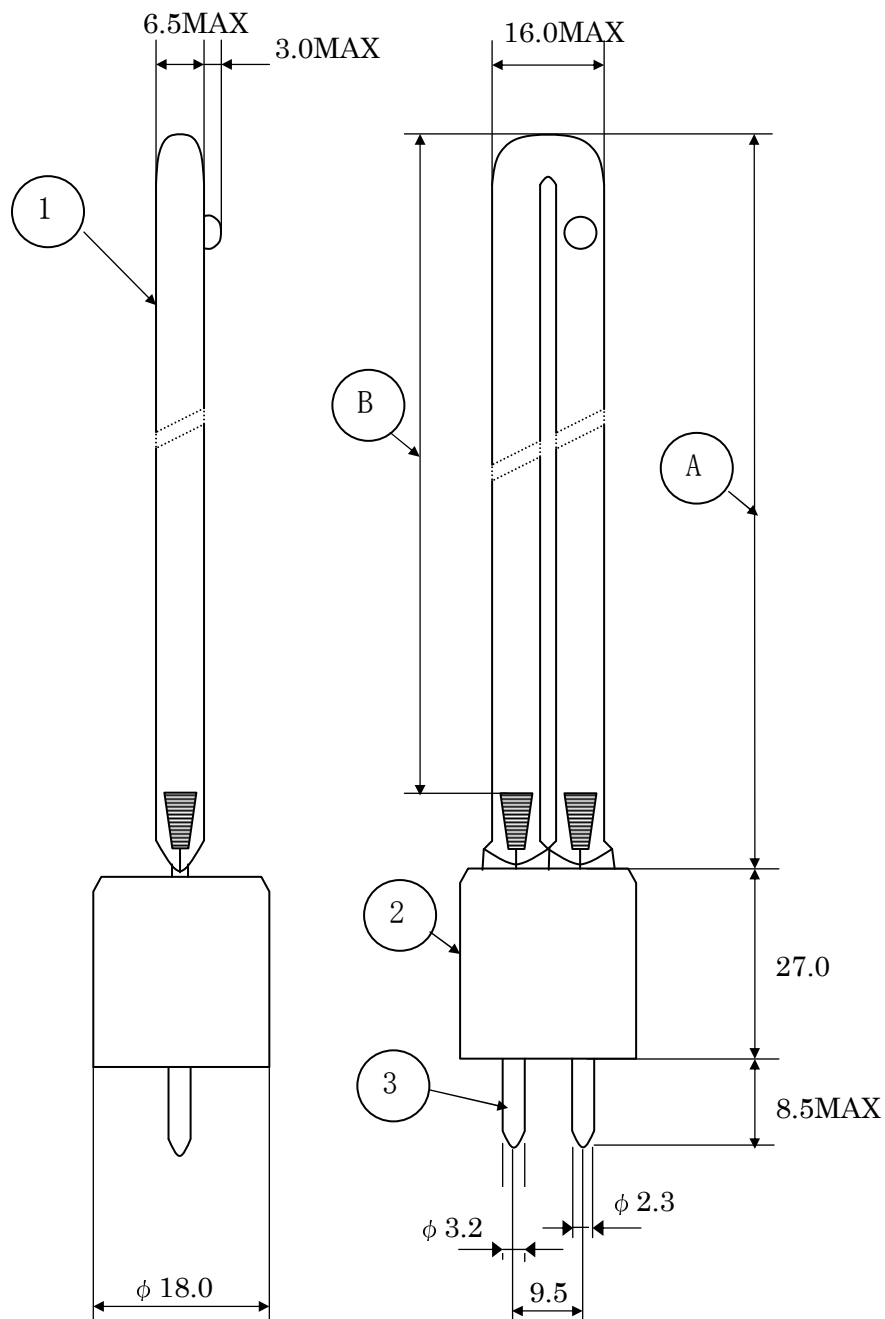
注意\*2: 測定装置はフナコシ(株)J-225 測定距離: ランプより 100mm 点室温での紫外線強度

注意\*3: 測定装置は荏原実業(株)製ワゴンモーター EG-2001D、測定時 1.5L/min にて吸引

注意\*4: オゾン濃度は使用環境条件にて変化致します。この数値は 25℃時です

ソケットタイプ 外形図

No	部品名	数量	材質	備考
①	ガラスバルブ	1	石英ガラス	
②	ランプベース	1	ステアタイト	
③	プラグ 丸 GY9.5	2	真鍮ニッケルメッキ	J 9 ソケットに適合



単位 : mm

## 改訂欄

版数	年月日	改定内容
第2版	H13年8月8日	4.1 電気・光学・環境仕様：ランプ電力、ランプ電流、ランプ電圧、185nm 紫外線強度の数値変更 オゾン濃度値、推奨インバータ、注意事項*3、4の追加